

第704回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 一般国道46号 盛岡西バイパス整備事業 [東北地整]

…………… 岩手県盛岡市

- ・一般国道46号は、盛岡市を起点に奥羽山脈を仙岩トンネルで越え秋田市に至る主要幹線道路であり、一般国道106号とともに、太平洋側と日本海側を結ぶ大動脈の役割を担っている路線。
- ・盛岡西バイパスは、盛岡都市圏の交通を円滑にし、都市環境を改善するなど都市機能を高めることを目的とした延長7.8kmのバイパス事業。現在は、2車線区間3.6kmの4車線化を進めている。
- ・視察時には、雫石川を渡河する西大橋(442m)の橋梁床版工を施工中。東北地整独自の高耐久設計(高炉セメント使用、模擬床版による試験施工など)を採用している。



2 道の駅もりおか渋民(盛岡市道の駅設置事業) [東北地整・盛岡市]

…………… 岩手県盛岡市

- ・盛岡市では、国道4号渋民バイパス沿い(盛岡市渋民)に道の駅の整備を進めている。
- ・本事業は、盛岡市と玉山村の合併に伴い策定された盛岡市・玉山村新市建設計画の一事業として実施するもので、道の駅の整備により、道路利用者及び地域住民の交通安全確保や利便性向上と、地域振興や観光振興を図ることを目的としている。
- ・盛岡市初の道の駅であり、盛岡市産材を積極的に活用した6棟の建物で構成されている。視察時には建物内装、外構工事、駐車場及び道路の路盤施工中。令和7年春に開業予定であり、工事完了を間近に控え、おおまかな完成形を確認できる。



3 宮古港出崎ふ頭/閉伊川水門 [岩手県]

…………… 岩手県宮古市

- ・宮古港出崎地区においては、ふ頭内の一部について湾内を周遊する遊覧船の「旅客ターミナル」として利用するほか、自然の潮の満ち引きを利用した「潮だまり」を設置した緑地公園「しおかぜ公園」の整備を行うなど、宮古市の賑わいの中心エリアとなっている。
- ・宮古湾に注ぐ閉伊川においては、東日本大震災では津波が川を逆流し市街地に大きな被害をもたらした。
- ・東日本大震災津波復興事業として、津波から市街地を守るため、閉伊川河口部に国内最大級の津波水門「閉伊川水門」の建設が進められている。
- ・現在、右岸(藤原地区)側では、水門本体の基礎杭の打設工事を行っている。

